

専攻科を振り返って

3月です！まもなく卒業です。今回でルポルタージュも最後なので、**専攻科について振り返りたいと思います。**
「母が介護福祉士だから」という理由だけで入学を決めたため、入学当初は消極的な姿勢だったと思います。しかし、GWの直前にコロナに罹患し、授業についていけない期間がありました。そのときに、専攻科のみんな、先生方、母にサポートしてもらい、遅れた分の授業を十分理解することが出来ました。そこからは、**授業が理解出来たり、技術もみんなに聞きながらできるまで行うようにしました。**

また、授業内容も講義だけではなく、地域の高齢者と実際に関わる、映画で病気の症状を具体的に学ぶなどさまざまあり、充実した授業でした。またサークル活動にも参加し、地域交流や留学生など**多世代交流の経験を積む**ことができました。なかでも、川遊びをしたいという希望を叶えてくれて、**嬉しかったです！**

実習では、楽しく学びを深めることができ、高齢者との関わりがより楽しいと実感しました。また、先生方が進路選択や国家試験対策など多方面でサポートしてくださいました。将来の選択が増えただけでなく、**高齢者との関わりが楽しくなること、福祉の学びをより深められたことなど多く得られる**ことがあり、入学して良かったと思います。ありがとうございました。これからも、日々学んでいきます。

